

1年2組 生活科学習指導案

1. 単元名 「みんな だいすき」

2. 単元についての考え方

子どもの実態

- 本学級の子どもたちは、入学して6ヶ月学校生活においては、自分の身の周りのことを自分で行き、学級の中の係活動や当番活動では、学級の一員として、その役割を果たしている。しかし、家庭においては、親にしてもらっていることは当たり前のこととして捉え、家庭の中での自分の役割に気付いている子は少ない。
- 生活科の学習では、これまで「がっこうたんけん」で、学校の中を自分達で回りながら、いろいろな教室や上級生、たくさん先生方と触れ合い、学校生活を支える人々にも目を向けてきている。「とびだせあそびたい」では、自分達で活動を作り出し、楽しく活動することもしてきた。
- これまでの学習で、自分のしたことを簡単な絵や文で表すことはできつつあるが、発表の資料を作り発表をした経験はまだあまりない。

こんな教材で

「家庭と生活」のめざすところは、第一に、子どもが家族の一員としての自覚を高めること、第二に、子ども自らが健康的な生活をしようとする意識を高めることである。子どもたちは、「家族」「家庭」について思いをめぐらしたとき、あまりに身近すぎて家族の有り難さや家庭の温かさを実感する子は少ない。家族紹介や自分の一日の生活を調べるうち、「家庭」「家族」について考えるようになるだろう。夏休みの宿題で、「いえのしごと」を実行できた子どもも9割くらいいる。しかし、そのまま進んで仕事をやり続けている子は半分にも満たない。本単元で、あらためて家族のよさや家族の一員としての自分に気付かせたい。さらに、家事分担を担う事にとどまらず、家族と一緒に温かな家庭のために、自分にできることを考え実行させたい。そうすることが、家族の一員としての自覚を高め、規則正しい生活・自立への基礎を培うことにつながると考える。

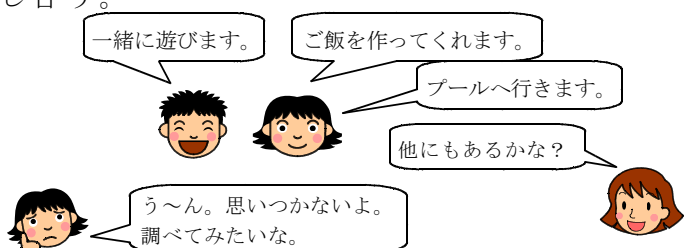
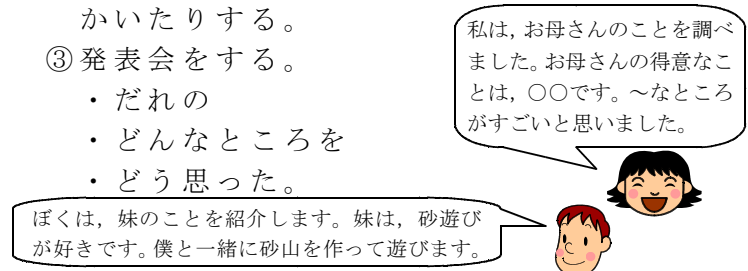


教師の支援

- 主な活動の場は、家庭になるので、家庭の協力は不可欠である。単元に入る前に、学年便りや懇談会を通し、各家庭に学習のねらいや内容と、プライバシーに配慮し学習を進めることなどを伝え、協力や承認を得ておく。
- 単元の導入段階では、「家族紹介」を通して家族や家庭の様子に関心を向け、自分の一日の生活を確かめながら、家の中にいろいろな仕事があり、それはだれがしているのかなど家族について関心を高める。
- 子どもたちが、自分でできること・家の中の仕事で手伝えること・自分がすると家庭が楽しくなることなどに気付き、それを増やしたり上手になったりできるように、家族からの励ましや感謝の言葉を協力してもらおう。
- 学校での交流で、友達の活動状況を知り、自分と比較しながら、それぞれが、自分のできること・することを考え、その範囲を広げられるようにする。

めざす子どもの姿

- 自分の家族や家庭生活に関心をもち、すすんで自分の役割を果たそうとするとともに、規則正しく健康に気をつけて生活することができる。 (関心・意欲・態度)
- 家庭生活を支えている家族のことや、自分でできることなどについて考え、それを実行し表現することができる。 (思考・表現)
- 家庭生活を支えている家族のことや、自分でできること、自分の成長に気付くことができる。 (気付き)

3. 指導計画（15時間）

段階	主な学習活動と内容	教師の支援 ※評価	配時
	<p>1. 「家族」について考え、家族紹介をする。</p> <p>(1) 家族について知っていることを書き出し、話し合う。</p>  <p>一緒に遊びます。 ご飯を作ってくれます。 プールへ行きます。 他にもあるかな？ う～ん。思いつかないよ。調べてみたいな。</p> <p>(2) 家族の1人について調べ、発表する。</p> <p>① 家族調べをする。 好きなところ・してくれること・お家での仕事・得意な事・おもしろいこと・どんな人・一緒にすること・すごいと思うこと</p> <p>② 分かったことをまとめる。 発表用の紙に調べたことを書いたり似顔絵をかいたりする。</p> <p>③ 発表会をする。 ・だれの ・どんなところを ・どう思った。</p>  <p>私は、お母さんのことを調べました。お母さんの得意なことは、〇〇です。～なところがすごいと思いました。</p> <p>ぼくは、妹のことを紹介します。妹は、砂遊びが好きです。僕と一緒に砂山を作って遊びます。</p> <p>2. 家族の一員である自分のことを振り返る。</p> <p>(1) 「わたしの一日」を付せんに書き出し表に貼り分ける。 家族にしてもらっていること 一緒にしていること 自分一人でしていること</p>  <p>お母さんと一緒にしていることが多いよ。</p> <p>(2) 自分でできることを考える。 ・自分のこと ・お手伝い</p> <p>(3) 家で活動する。</p>  <p>朝、自分で起きたよ。 宿題って言われなくても自分でしたよ。 掃除機で部屋を掃除したよ。 「ありがとう」って言ってもらえて、やる気が出たよ。 毎日するのって大変だな。</p>	<p>○ 単元に入る前に保護者への理解と協力を学年通信や保護者会でお願ひしておく。</p> <p>○ 身近すぎて気付きにくい家族の存在に目を向けさせる。</p> <p>※ 家族のことを思い出そうとしている。</p> <p>○ 3日間家庭で活動する。</p> <p>○ 友達の前で発表することを意識して見やすく分かりやすい資料作りをするように助言する。</p> <p>○ 調べてきたことを自分の言葉で発表させる。</p> <p>○ うなずいたり認めたりする。</p> <p>※ 家族には、いろいろな分担や仕事があることに気付いている。</p> <p>○ 一日を捉えやすいように付せんや表を活用する。</p> <p>※ 規則正しい生活は、家族のおかげで成り立っていることに気付く。</p> <p>○ 一人でもできそうなことに取り組むよう促す。</p> <p>○ 1週間家庭で活動する。</p> <p>○ 保護者に日々の活動での賞賛や活動の写真を撮ってもらうようお願いする。</p> <p>○ 毎日の取り組みについて自己評価表を付けさせる。</p> <p>○ 帰りの会などで活動の様子を尋ね、意欲を継続させる。</p>	<p>1</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>1</p>

(4) 家での活動を振り返る。

① 自分のしたことをわかりやすくまとめる。

- ・発表することを文にする。
こんなことをして、どうだった。
- ・写真や絵を加える。
- ・実際にやってみる。
- ・発表の練習をする。

発表の仕方
工夫してみよう。



② 自分のしたことを分かりやすく発表する。

- ・子どもたちの取り組みを見て思ったことを保護者から伝えてもらう。

毎日たたんでくれて
とても助かりました。



ぼくは、洗濯ものを
たたみました。きれい
にたためるように
なったので、今から
やってみます。

上手にたためるなあ。すごい
ねカードに書いておこう。



私もやってみたいなあ。

3. 家族のために自分ができそうな活動を考え、選んで挑戦する。

(1) 自分で挑戦することを決める。

- ・今度は、〇〇さんがしたこと挑戦してみよう。
- ・うまいかななかったから、やり方を変えてもう一度やってみよう。
- ・しなくてもいいけど、すると楽しいことを考えたよ。

(2) 家庭で活動する。

〇〇さんがやっていたお皿洗いに挑戦しているよ。



家族みんなで、にらめっこしたりトランプで遊んだりしているよ。



ぼくは、弟と一緒に
おどってみたよ。お父さんとお母さんがおもしろいって言うてくれたよ。



4. 活動を振り返り、自分の成長を知る。

- ・一人でできるようになった。
- ・お手伝いが楽しくなった。
- ・家族でもっと一緒に過ごしたいな。
- ・家族と話すことが増えたよ。

○効果的な発表の仕方を助言する。

○聞くときの視点「友だちが頑張っているなあと思ったこと」をカードに書かせる。

○活動を見たり発表を聞いたりして感じたこと保護者のGTに伝えてもらう。

○家で活動したときの様子について、保護者から手紙をもらう。

※自分がしたことを分かりやすく表現している。

○わたしの1日・家族の1日を掲示しておき、活動の視野を広げさせる。

○家庭生活が楽しくなることも考えさせる。

※自分で新たな活動を選び実践しようとしている。

○帰りの会などで活動の様子を発表させ、取り組んでいることを交流する。

○もっとできるようになりたい・家族で楽しい事を計画したいという気持ちを継続していけるように保護者に手紙を書いてもらう。

※自分の成長に気付いている。

3

2

2/2
本時

1

2

4. 本時 平成19年10月 5校時 1年教室にて

5. 本時の目標

- 家庭で自分がしたことを自分なりの表現方法で友達に伝えることができる。
- 友達の発表を聞いて、がんばったこと・お手伝いのこつや工夫に気づくことができる。

6. 本時指導の考え方

- 本学級の子ども達は、前時までに家庭でできること（自分のことは自分でする・お手伝いをする・家庭が楽しくなることをする）を実際に行い、発表の準備をしてきている。

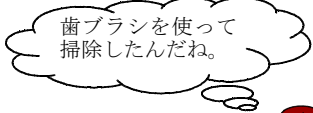







本時は、家庭で自分がしたことを発表し友達と交流することで、がんばったこと・お手伝いのこつや工夫に気づくことをねらいとしている。

そのために、まず、家庭でのお手伝いの様子が具体的に分かる写真や絵の資料を提示しながら発表させる。発表を聞いている子どもには、発表している友達のがんばりや自分がしていないことを見つけるように助言しておく。次に、友達のがんばりやお手伝いのこつ・工夫を「すごいねカード」に書き、発表することで、友達のよさに気づかせていく。さらに、GTに賞賛と家族の喜びを話してもらい、お手伝いだけでなく家族の団らん（家庭が楽しくなること）にも視点を当てて、活動をもっと工夫していこうという意欲を持たせたい。さらに、お家の人からの賞賛の手紙を読ませ、これからもがんばろうという意欲を高めたい。

7. 準備

- 児童・・・学習ファイル，発表の時に使う物
- 教師・・・学習プリント

8. 展開

主な学習活動と内容	教師の支援※評価
<p>1. 本時学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>おうちでじぶんがしたことをはっぴょうしよう。</p> </div> <p>2. 自分がしたことを発表したり，すごいねカードを書いて発表したりする。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;">  <p>私は、階段掃除をお父さんとしました。まず雑巾で、上からしたら、歯ブラシで隅のほうをまた上からやりました。最後に水で流しました。きれいになって気持ちよかったです。</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>2 回も掃除していてすごいと思いました。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>3. G T の話を聞き，お家の人からの手紙を読む。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;">  <p>歯ブラシを使って掃除するなんて驚きました。みんなとてもがんばりましたね。お手伝いだけでなく、肩たたきをしてくれたり、一緒にゲームしてくれたりしたこともうれしかったよ。</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>お風呂掃除をしてくれてありがとうございます。これからも続けてくれたらいいな。</p> </div> </div> <p>4. 本時の活動をふり返る。</p> <p>(1) ふり返りカードを書く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;">  <p>・わかりやすく伝えることができたな。 ・○○さんのやったことは、すごいな。</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>次は、家族を楽しませるようなことをしてみたいな。</p> </div> </div> <p>(2) 教師の話を聞く。</p>	<p>○発表の仕方を確認する。</p> <p>○実演したりお手伝いしている時の写真や絵をプロジェクターで拡大したりして発表させる。</p> <p>○友達のがんばったこと，お手伝いのこつや工夫に気づいてる子を発表させる。</p> <p>※はっきりした声で話している。</p> <p>※友達のがんばりに気付いている。</p> <p>○G T の話を聞かせ，いろいろな活動をしてみたいという意欲を持たせる。</p> <p>○お家の人からの手紙を読ませ，これからもがんばろうという意欲を高める。</p> <p>○発表の仕方，発表を聞いての気づき，今後の活動の見通しについてふり返らせる。</p> <p>○次時の活動への見通しを持たせる。</p>